

新人看護職員 募集案内
Recruitment of new Nursing staff

患者様に寄り添う
看護をめざして



独立行政法人 地域医療機能推進機構
福岡ゆたか中央病院

JCHO 福岡ゆたか中央病院の理念

理想的な地域包括ケアを実現することで、病む人と職員が幸せになり、地域社会が健やかに栄える病院を目指します。

JCHO福岡ゆたか中央病院の沿革 History of JCHO Fukuoka Yutaka Central Hospital

- 昭和23年5月
健康保険厚生荘病院として発足：厚生省（社会保険庁）が買い上げ、社団法人全国社会保険協会連合会（全社連）へ運営を委託。
- 昭和37年3月
195床（一般49床、結核146床）に増床し新築。
- 昭和47年3月
健康保険直方中央病院に名称変更。
- 昭和52年9月
一般132床、結核63床に病床変更。
- 平成16年5月
病院新築移転・診療開始。
- 平成17年8月
日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver4.0 認定。
- 平成20年10月
社会保険庁より独立行政法人 年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）へ管轄変更。独シーメンス社製128スライスCTを西日本の大学・大病院に先駆け導入。
- 平成22年
入院基本料7：1取得とDPC対象病院になり、日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver6.0 認定。外来化学療法室を開設。
- 平成24年9月
九州第1号の独シーメンス社製、第2世代3テスラMRI Skyra（スカイラ）を導入。
- 平成26年4月
法律改正に伴い、独立行政法人 地域医療機能推進機構へ移行。JCHO（ジェイコー）福岡ゆたか中央病院へ名称変更。
- 平成28年9月
5階病棟が内科急性期病棟より地域包括ケア病棟に変更。変更に伴い、5階病床数を37床から28床に。
- 平成29年11月
162床（一般132床、結核30床）に病床変更。



看護部理念

Nursing Department philosophy

地域と
患者の
視点に立った
「安全で
安心な
良質な看護」を
提供し
看護によつて
選ばれる病院を
目指します。



基本方針

1. 急性期・高度医療に対応できる質の高い看護を提供します。
2. 看護倫理を踏まえた患者中心の看護を実践します。
3. 患者さんに信頼される丁寧で温かいケアを提供します。
4. 他部門と協働し、患者を中心とするチーム医療を推進します。
5. 働きがいがあり、学習向上できる組織風土をつくります。

スローガン

目くばり、気くばり、心くばりで、先取りの看護をする

目くばり、気くばり、心くばり。



看護部長からのメッセージ

Message from the Director of Nursing



福岡ゆたか中央病院は急性期病棟と地域包括ケア病棟・結核病棟を有する直方市の中核病院です。地域の医療機関や介護福祉関係者と協力しながら、地域住民の皆様の健康と幸福生活を支えています。また、健康管理センターでは病院だけでなく健診バス2台を活用して皆様の健康維持・疾病の早期発見に力を入れています。

遠賀川など自然に囲まれた環境の中にありながら、通勤しやすい場所にあります。看護部は「看護で選ばれる病院を目指す」を理念に掲げており、積極的に自己研鑽に励み、能力開発や知識の獲得に努める風土が培われています。また、高度急性期とは違い、比較的ゆっくりと患者さまと向き合うことができ、丁寧な看護が行なわれています。

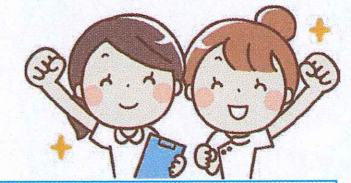
さらに休みが取りやすく、働き続けられる環境が整っています。

みなさんも、私たちと一緒に、看護師として人生を楽しみませんか。

看護部長 福田 妙美
JNA 認定看護管理者 Taemi Fukuda

看護体制

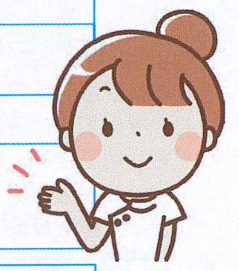
Nursing system



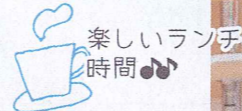
看護職員数	163.7名 ※2021年12月1日現在
看護方式	パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS)

	一般病棟	地域包括ケア病棟	結核病棟
入院基本料	7:1	13:1	7:1
看護補助加算	25:1	25:1	—
看護体制	変則2交替・3交替		
	3階病棟 3人夜勤勤務	4階病棟 4人夜勤勤務	5階・6階病棟 2人夜勤勤務

看護単位数	病棟 4	手術室	外来	健康管理センター	連携室
-------	------	-----	----	----------	-----



3交替をのぞいてみましょう♪



① 日勤の流れ

Nurse's daily schedule

8:15 ミーティング・申し送り
9:00 本日の業務確認
環境整備・点滴整備・清拭
9:30~11:00 回診介助・検温・点滴施行
11:00 カルテ記載
12:00~13:15 食事介助・ランチタイム
14:00~16:00 検温・検査助・カルテ記載
16:00~17:00 申し送り・処置伝票チェック
翌日退院患者書類セット
17:00 勤務終了



患者さんのお昼ごはん運んでいます♪

② 準夜勤の流れ

Nurse's semi-night shift schedule

16:00 翌日の検査チェック
処置チェック
16:20 申し送り
16:40 点滴チェック
17:00 検温・カルテ記載
18:00 配膳・食事介助・時間注射投与
19:00~21:00 重症者、有熱者検温
処置、イブニングケア
休憩(夕食)
21:00~23:00 カルテ記載・病棟巡視
時間処置(内服・共通)
0:15~0:45 申し送り・勤務終了



ダブルチェックしながら業務遂行中~☆

③ 深夜勤の流れ

Nurse's night shift schedule

0:00 申し送り・輸液チェック
検査チェック
1:00 重症者検温・病棟巡視
時間注射投与
2:00 カルテ記載
回診車の点検
3:00~4:00 病棟巡視・カルテ記載
時間処置
4:00~5:00 休憩・処置伝票見直し
6:00~7:00 検温・カルテ記載
モーニングケア
8:15 ミーティング・申し送り
8:45 勤務終了



患者さんかゆのご要望や情報は忘れずメモメモ!



マメに教えるときだけじゃないです☆
楽しく先輩とおしゃべりしています♪

教育システム

Education system

JCHOのミッションである医療・地域包括ケアシステムの視点を持ち、地域住民の生活支援ができる知識・技能・態度をもった看護職員の育成を目指し、教育体制を整備しています。

看護は人間の生命や生活に深くかかわる職業であり、生涯にわたり研鑽が求められます。院内外の研修を有効に活用し、看護の質の向上、そして看護によって選ばれる病院を目指していきたいと考えています。

JCHO 教育理念

看護職者としての自律と成長をめざして学び続ける。

JCHO 教育目的

1. 地域医療で重視される疾病や医療・介護・福祉を繋げる視点を育てる継続的な学習、病院内だけでなく地域においても活用できる、看護実践方法の習得を支援することにより地域住民の多様なニーズに応える安全・安心な看護を提供できる人材を育成する。
2. 専門職・医療チームの一員としての責任・使命感を持ち、興味を持つ分野・領域において、主体的に学習や組織改革に参画できる人材を育成する。

JCHO 教育目標

1. 日常の看護(業務・実践)に役立つ学習活動に参加することができる。
2. 問題解決能力・判断力を身につけ、個人や集団のニーズを理解して、患者とその家族・地域住民及びチームの問題解決のために、具体的行動がとれる。
3. チームの一員としての役割を認識して成果を出し、患者とその家族及び組織から信頼・信用を得ることができる。

クリニカルラダーの目的

1. 個々の看護師の臨床実践能力を適切に評価し、個人が主体的に成長するための動機づけとする。
2. 人材育成(キャリア開発)の視点に立った現任教育を実践するために個人の教育ニーズを把握する。



嬉しいサポートが
 気遣いや
 やさしい
 いてくれる
 一緒に
 心細くなった時、
 手いっぱいの時、

みんなでサポートします！

新人時代は慣れない環境での初めての経験ばかりで、時には不安になることもあるでしょう。そんな時、心の支えになってくれるのがチューターです。看護部では新人ひとりひとりに、チューターが1年間を通してペアを組んでマンツーマン支えます。相談しやすい心強い先輩がいつも傍であなたを見守ってくれます。チューター以外の先輩や上司にも気軽に相談できる環境が整っており看護部さらには病院全体でサポートします。

研修教材

研修で使用する注射モデル、気管・口腔・胃瘻の吸引モデルに加え、看護スキルアップのための教材が充実しています。



注射やマナー、危険予知訓練などのDVD教材

吸引モデルや注射モデルの腕自慢などの教材も♪

チューター

1年間を通して、ペアを組んでマンツーマンで支えてくれます。

実地担当者

経験5年以上のベテラン看護師が直接、技術指導してくれます。



支えてくれる先輩たちとたくさんの教材があってとても心強いんです☆

新人教育プログラム

New nurse education program

4 April

- ◇入職時オリエンテーション
- ◇基礎看護技術
- ◇医療機器の取扱い
- ◇新人職員研修(地区事務所)

5 May

- ◇新人職員研修(地区事務所)
- ◇フォローアップ研修

6 June

- ◇フィジカルアセスメント(基礎)
- ◇ローテーション研修(前半)

8 August

- ◇医療機器の取り扱い
- ◇心電図のとり方

9 September

- ◇ローテーション研修(後半)



2019年度 新卒採用者の声

Message

入職時のオリエンテーションでは当院の理念や看護部および他部署の特徴についての説明を受けました。クリニカルリーダーの目的や概要についても詳しい説明もありました。オリエンテーションを通して、入職時の不安は和らぎ、看護業務に従事することができています。チームの一員として頑張っています。

3階病棟 尾崎 菜摘
近畿大学付属福岡高等学校 卒

Message

リフレッシュ研修では、5~6人のグループで目標に向かってひとつの課題に取り組みました。その過程で一人一人のアイデアを出し合い、限られた時間の中で挑戦しました。達成できた時は、みんなで喜び合いチームワークの大切さを学ぶことができました。

4階病棟 武本 絵莉香
原看護専門学校 卒

Message

心電図や輸液ポンプなどの操作方法をクリニカルエンジニアが行なう新人研修で学び、実際に病棟で取り扱うときは、一人でできるようになるまで何度も丁寧に先輩看護師に見守ってもらいました。おかげで現在は夜勤業務にも入っていますが、簡単な操作方法に関しては自己にて行なえるようになりました。

5階病棟 中村 萌華
大和青藍高等学校 卒

Message

輸液ポンプやシリンジポンプ、人工呼吸器、心電図モニターなど使用頻度の高い医療機器の取り扱い方の研修を受けました。所属部署では様々な医療機器を使っているため、正しい知識をもち医療機器を取り扱い、安全な看護が提供できるよう努めていきたいと思いました。

3階病棟 片山 すず
宗像看護専門学校 卒

Message

入職時のオリエンテーションでは、病院の概要に始まりカルテの使い方などを教えて頂きました。また各病棟の紹介があり、どの部署に配属されるのか、とても楽しみになりました。先輩方からの言葉を頂き、不安な気持ちが少し楽になったのを覚えています。

4階病棟 富場 知佳
宇部フロンティア大学 卒

Message

ローテーション研修では自分が所属していない病棟に行き、自分の病棟では経験できない処置等を体験することができました。手術室にも入ることができ、自分にはどの病棟が合っているかなど新人のうちに考えることができ、とても良い体験をすることができました。

3階病棟 森 皇樹
小倉南看護専門学校 卒

新人教育プログラム

New nurse education program

10
October

- ◇急変時対応
- ◇一次救命処置
- ◇リフレッシュ研修

11
November

- ◇看護記録
- ◇看護必要度
- ◇フィジカルアセスメント (呼吸・循環)
- ◇糖尿病看護
- ◇緩和ケア

12
December

1
January

- ◇倫理
- ◇地域連携

2
February

- ◇フォローアップ研修

3
March

- ◇1年間の振り返り
- ◇グループワーク



2019年度 新卒採用者の声

Message

BLS研修では胸骨圧迫や気道確保、人工呼吸等の一次救命、AEDの使用方法を人形を用いて学びました。各病棟の師長さんの指導のもと、2人1組で行ない、正確な技術・知識を身につけることができました。病棟でも実践できるようにしていきたいです。

4階病棟 入江 綾香
折尾愛真高等学校 卒

Message

リフレッシュ研修では講義や様々な職種の新入りのグループワークを通して看護師は患者だけでなく、家族や多職種と関ることが多いため、積極的なコミュニケーションを図り信頼関係を築くことの大切さを学びました。新人同士の悩みや不安を共有することで気持ちが軽くなり、前向きな気持ちになりました。

5階病棟 南 佳奈恵
宗像看護専門学校 卒

Message

リフレッシュ研修では「楽しい思い出」について発表した際、みんなから「いいね」と言われて大変嬉しかったです。積極的に意見を述べる事が得意でしたが、研修を通して傾聴する姿勢や環境作りの大切さを実感しました。この学びを今後の看護実践に活かしていきたいと思えます。

6階病棟 吉村 舞衣
折尾愛真高等学校 卒

Message

BLS研修では、講義だけでなく実技を行ない、緊急時の対応について学びを深めることができました。急変時には駆けつけ、繰り返しシミュレーションを行ない、理解を深めていくことが大切であると実感しました。今後は研修で学んだ技術を実践に活かし、頑張りたいと思いました。

3階病棟 宮川 幸弓
大和青藍高等学校 卒

Message

ローテーション研修では各部署の特殊性や医療や看護を学ぶ機会になりました。研修を通し、退院後の生活まで援助することの大切さや手術や検査、疾病を抱える患者さんへの全面的な介入など、患者さん中心の医療を行なうことの重要さを感じ、私の看護の基盤となりました。

6階病棟 高崎 しおり
折尾愛真高等学校 卒

病棟のホームページには他にも先輩ナースのコメントがたくさん! スマホやパソコンでアクセスしてみね★

看護ユニットのご紹介

Introduction of Nursing unit



外来

子育てと仕事が両立できる職場

外来は15の診療科があり、専門医が日々診療にあたっています。外来スタッフは、受診された患者に対し、診療の介助や生活指導・透析予防指導・リウマチ指導などを通して、患者の在宅療養を支える看護を行なっています。

外来看護師の中には、子育て中の方も数名勤務しています。子どもの急な病気での休みについても、柔軟に対応できる協力体制がある働きやすい職場環境を整えています。

当外来は、色々な専門分野での勤務が可能であり、知識習得に向けての支援も充実しているため、スタッフは常にやりがいを持ち勤務しています。外来では新人看護師の配置はありませんが、採用後ローテーション研修を通し外来看護を学ぶ機会があります。



3階病棟

若いスタッフが生き生きとはたらく明るい病棟

3階病棟は外科系の急性期病棟で、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、眼科が主な診療科目となっています。病床数は45床で手術を目的とした患者さんが多く入院されています。病棟スタッフは43名で、看護師39名、看護補助者4名となっており、年齢は20～50歳代と幅広い構成となっています。また20代の若いスタッフの割合が全体の半数を占めており、毎年4～6名のフレッシュな新人看護師が入职してきます。そのため、病棟はいつも元気で笑顔が絶えない活気ある明るい病棟です。

人材育成にも積極的に取り組んでおり、毎年、教育担当者や実地指導者研修にも参加しています。新人育成については、新人教育担当者等を配置し計画的に教育を進めています。また、部署に配属された新人看護師が生き生きと成長できるようスタッフとの情報共有を円滑に行ない、病棟全体で支えていけるようにしています。



4階病棟

循環器疾患・呼吸器疾患を中心とした急性期内科病棟

4階病棟は定床55床の内科急性期病棟です。心不全や呼吸不全、消化管出血など急性期看護のほか、胃がんの内視鏡治療や肺がんの化学療法などの悪性疾患の治療、看護についても学ぶことができます。また膠原病は大学病院と連携して生物化学製剤の導入から退院後の日常生活指導まで一貫して関わっています。師長、看護助手含む50名の看護スタッフは20代から60代と幅広い年齢層ですがコミュニケーションは良好な活発で明るい病棟です。また、毎日のミーティングでは、多職種が参加して転倒転落・認知症・退院調整など入院から退院まで患者が安全、安心に入院生活を送れるように情報交換をして連携を強化しています。実習校は5校受け入れており、学生の理解度や実習の進捗状況に合わせたきめ細やかな指導ができるように指導者間で情報共有を密に行なっています。実習に来た学生が就職先に選んで頂けるそんな温かくて、やりがいのある病棟です。



5階病棟

看護師は20～50歳代の幅広い年齢構成で明るく家庭的な病棟です

病床数32床の地域包括ケア病棟です。特徴は①急性期の治療を終え、退院を目指したリハビリが必要な患者さん、②急性期病院からリハビリを重視した入院治療が望ましい患者さん、③自宅、施設などで療養中の方で褥瘡予防や日常生活動作(ADL)向上のためのリハビリの必要な短期入院患者さん、④糖尿病教育入院やインスリン注射導入、術前の血糖コントロールなど糖尿病看護に特化した患者さんを受け入れています。病棟スタッフは20～50歳代の幅広い年齢構成の看護師・看護補助者で明るく家庭的な病棟です。患者さんが入院前の生活に少しでも近づけるよう専従のリハビリスタッフや地域連携室スタッフ(MSW)等の多職種連携を図りながら、患者さんに寄り添い、きめ細やかな支援を心がけています。さらに、患者さんのニーズに応えられるように、院内・院外研修の参加や、看護に活かせる資格の取得を行なって、病棟内で勉強会を重ねながら質の高い看護を目指しています。



6階病棟

「笑顔がたえない家庭的な雰囲気」を大切に…

6階病棟は、病床数30床の結核やインフルエンザ等の感染病棟です。高齢者の結核患者が多く、ほとんどが長期入院を要するので、家庭的な雰囲気を大切に患者の想いや苦痛への気づきを早期にキャッチし、安心・安全・安楽に過ごせるように問題解決に取り組んでいます。入院生活のストレスを少なくして、療養生活が送れるように、レクリエーションを取り入れたニコニコ体操や季節ごとのイベントを企画し、患者と一緒に楽しく過ごせる時間を大切にしています。入院中から地域の保健師と連携して、DOTS(直接服薬確認療法)会議を行ない、退院後の生活支援に繋がっています。また、外来診察時には病棟看護師参加による継続看護も行なっています。毎年新人看護師の配属もあり、温かくホッコリとした職場です。感染管理を確実に実行し、スタッフも罹患することなく明るく元気に働いています。



キャリアアップ支援

Career improvement support

看護職員一人ひとりが自分の目標を掲げ、働きながらキャリアアップを図れるように応援します。資格取得についても全面的にサポートしています。

臨床実習指導者研修

実習指導者研修は、看護教育における実習の意義および実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識と技術を取得します。

認定看護師

専門領域の学びを深め、スペシャリストとして活躍できるよう、サポート制度を用意しています。日本看護協会指定の教育課程を半年間受講します。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができ、看護実現における看護ケアの広がりや質の向上を図ります。認定看護分野とは、高度化および専門分化する保健・医療および福祉の現場において、熟練した看護技術および知識を必要とする看護分野として日本看護協会の制度委員会が認めたものをいいます。

現在、特定されている21分野

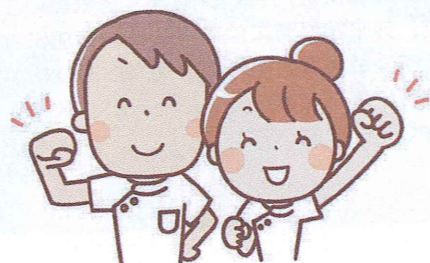
救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護、訪問看護、感染管理、糖尿病看護、不妊症看護、新生児集中ケア、透析看護、手術看護、乳がん看護、摂食・嚥下障害看護、小児救急看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、がん放射線療法看護、慢性呼吸器疾患看護、慢性心不全看護

特定行為研修

特定行為研修制度は、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により、チーム医療の推進を図るために保健師助産師看護師法の一部が改正され、平成27年10月1日から施行されました。この研修制度は、診療の補助のうち特定行為を明確化し、医師や歯科医師が作成した手順書により特定行為を行う看護師への研修を義務化した制度です。2025年に向けて厚生労働省からは、さらなる在宅医療等の推進を図るためには個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに手順書により、一定の診療の補助等を行う看護師を計画的に養成し、二桁万人を確保していく方針が示されました。看護師の特定行為研修を行う研修機関として、特定行為10区分において平成29年3月29日付で独立行政法人地域医療機能推進機構は厚生労働大臣が指定する研修機関に指定されました。JCHOは、地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民の期待に応えることを使命としています。特定行為を提供する看護師を育成することにより、地域住民の多様なニーズに応え、安心して暮らすことができるよう地域医療を支え、貢献できることから、今般、特定行為に係る看護師の研修を実施することとしました。JCHOにおいては地域医療の場で看護師が患者の状態に合わせたより迅速な対応ができることを重点的に強化するという主旨から、糖尿病看護、透析看護、感染看護、創傷ケア、在宅ケアの5領域に関連する特定行為区分について実施いたします。

実施する特定行為区分（10区分）

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、ろう孔管理関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、透析管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連、皮膚損傷に係る薬剤投与関連



認定看護師からのメッセージ

Message from Certified nurse



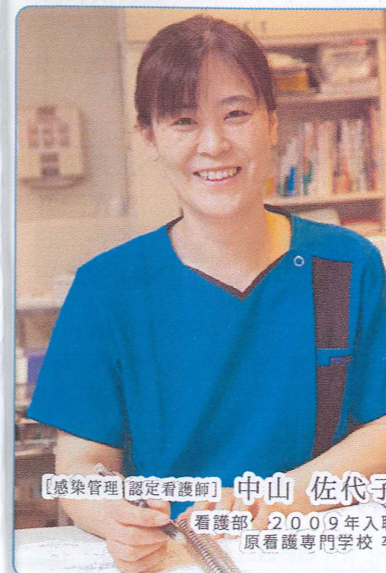
副看護部長 桑幡 まゆみ
【糖尿病看護 認定看護師】
5階病棟 1993年入職
近畿大学付属福岡高等学校 卒

私が「糖尿病看護認定看護師」を目指そうと思ったきっかけは、糖尿病教育を行なっている内科病棟への異動でした。糖尿病の患者さんと関わる中で知識不足を痛感し、まずは地域の糖尿病療養指導士の資格を取得しました。しかし「患者さんは、どうして治療を守ることができないのだろう？」と指導の難しさを感じていた時に、上司の勧めもあって「糖尿病看護認定看護師」教育課程を受験し、志の高いクラスメイトと7ヵ月間、協力し合いながら勉強漬けの日々を送りました。多様化するライフスタイルに合わせた生活調整支援などを習得する中で、今までの関わり方が患者さんの生活背景よりも、病気にばかり目が向いていたことに気づかされました。このような多くの学びを得ることができたのは、長期研修中の勤務調整など病院のサポート体制とスタッフの協力があつたからこそ、認定看護師を取得することができたのだと感謝しています。現在は、糖尿病療養指導士の資格を持った多職種スタッフ（薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士・看護師）の協力のもと、少しずつチーム医療としての形づくりを行なっています。今後は、チーム医療の架け橋としての役割が担えるように自己研鑽に励み、生涯糖尿病とともに生活する患者さんが「自分らしく、健やかな人生を送れる」ためにセルフケアを共に考え、見守り、寄り添いながら一番身近な相談者として心の通った支援に努めていきたいと考えています。また同じ糖尿病看護認定看護師や感染管理認定看護師と共に、認定看護師の役割である実践・相談・指導を共に協力しながら看護の質向上に貢献できればと思っています。

私は、2018年に福岡県立大学大学院の老年看護学領域を修了して、2019年に専門看護師の認定を受けました。専門分野は高齢者看護ですが、中でも認知症看護と終末看護をサブスペシャリティとしております。なぜ専門看護師を目指したのかというと、一言でいえば探究心だと思います。私の地域は高齢者が多く、入院患者のほとんどが超高齢者です。看護師になったばかりの頃は救急救命に興味がありました。しかし、高齢者の急変に直面していた時に経験したことがきっかけで高齢者の求める救いは、救命ばかりではないと気づきがありました。高齢者の場合、多種多様な生き方をされていることから、答えが一つとは限りません。私は、高齢者の多様な価値信念の中で、命と尊厳を守るために共に考え、最善の生を全うできるよう支援することが、高齢者看護のやりがいと考えています。高齢者のケアで困ったことがあれば気軽にお声かけ、ご相談ください。



老人看護専門看護師 田淵 稔英
4階病棟 2010年入職
福岡県立大学大学院 卒



【感染管理 認定看護師】 中山 佐代子
看護部 2009年入職
原看護専門学校 卒

院内感染委員として活動する中、看護部長より「感染管理認定看護師を目指しませんか？」と声をかけられ、その後看護研修センターで2週間の感染管理研修を受講し感染に関する興味が増えました。当院では、高齢者や免疫の低下した患者さんが多いこと、また結核病床を有する病院であり感染の危険性は高く、感染すると入院の延長、治療遅延など様々な障害が生じます。このような事がないように、院内の患者さんや職員、来訪者など全ての人を感染から守る必要性があり、感染に関する知識をさらに深め、迅速な対応ができるようになりたいという思いから目指す決意をしました。学習内容は感染管理プログラムを構成する6つの項目（医療関連感染サーベイランス、感染防止技術、職業感染管理、感染管理指導、感染管理相談、ファンシリティ・マネジメント）について、最新の知識と施設の状況に合った効果的な感染対策を実践するための技術を学びました。感染管理認定看護師を目指すようになって、基礎学習として医療福祉環境アドバイザーや医療環境管理士などの資格を習得しながらステップアップし、院内感染管理者である上司によるアドバイスや看護部長や副看護部長による面接の練習など病院全体としての応援を受け、自信を持って受験することができました。

インターンシップ

Internship

就職活動を行なっている学生さんを対象に職場体験学習を実施しています。

インターンシップの目的

1. 看護師の仕事体験を通し、専門職業人としての知識や能力を体感する。
2. パンフレット等では分からない病院の実際や雰囲気を捉え、働くイメージができる。
3. 入職後のリアリティショックを緩和する。



スマホでアクセス
してみてください★



対象	次年度卒業見込みの看護学生
実施期間	● 随時開催 ● 半日 ※別紙参照 ※病院の都合により、月曜日および土日祝はご遠慮頂いています。
実施場所	急性期病棟（外科系・内科系）、地域包括ケア病棟、結核病棟
実施内容	病棟看護師の業務内容の見学
応募方法	まずはお電話にて、下記へご連絡ください。 独立行政法人 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 看護部宛 0949-26-2311（代表）
応募締切	希望する実施日の1週間前の17時まで
参加決定	参加が決定しましたら、当院からご連絡します。 ※先着順となります。
持参物品	実習ユニフォーム、ナースシューズ、筆記用具

お問い合わせ先

0949-26-2311（代表） 総務企画課 笹木まで

参加した方から寄せられたコメント（一部抜粋）

インターンシップに参加させていただいて、パンフレットの内容だけでなく実際に病棟の雰囲気を知ることができ、とても良かったです。処置に入らせていただいた後、質問をしたら丁寧に答えて下さり、また昼食の際に会話の中に入れていただいたり、安心して病院のことを知ることができました！

インターンシップに参加した事で入職後のイメージがわかりました。改めて新人の教育やキャリアアップのための支援などがしっかりしている事を確認でき、福岡ゆたか中央病院の一員として看護師としてのスキルをあげていきたいと思いました。

看護師の方々が、とても優しく丁寧に教えて下さって、とても分かりやすく楽しく過ごすことができました。病院の雰囲気やスタッフ同士の仲の良さがとても素敵でした。

病院や病棟の説明をしていただき雰囲気や教育体制など、さまざまな事を知ることができ、また先輩看護師さんからの話を聞き、就職したいという気持ちが強くなりました。とても充実した1日になりました。



インフォメーション

Information



独立行政法人 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院

〒822-0001
福岡県直方市大字感田523番地5
TEL 0949-26-2311
<http://fukuoka.jcho.go.jp>



スマホでアクセス
してみてください★

院長 松本 高宏
看護部長 福田 妙美
病床数 162床
(一般132床・結核病床30床)
職員数 320名
診療科目 内科・外科・乳腺外科・消化器科
リウマチ科・循環器科・呼吸器内科
呼吸器外科・整形外科・肛門外科
眼科・皮膚科・放射線科
リハビリテーション科



アクセス

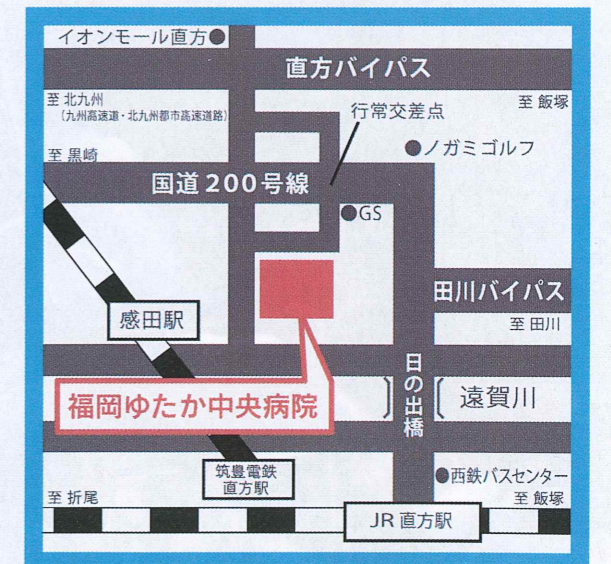
◆お車をご利用の場合

福岡方面	福岡 IC 九州自動車道	八幡 IC	約10分
	約25分		
北九州方面	小倉駅北 北九州都市高速	金剛	約10分
	約22分		

◆公共交通機関をご利用の場合

福岡方面	JR博多駅 博多駅より約66分	JR直方駅	西鉄バス イオンモール直方行き	約11分	
	約56分				
北九州方面	JR小倉駅 小倉駅より約55分	JR直方駅	西鉄バス イオンモール直方行き	約11分	
	約41分				
JR小倉駅	鹿児島本線	黒崎	筑豊電気鉄道	感田	徒歩
	約20分		約30分		約5分

福岡ゆたか中央病院



直方駅方面からは国道200号線、行常交差点を左折。黒崎方面からは同じく国道200号線 行常交差点を右折。電車・バスの詳細は、各会社のホームページをご参照ください。

インターンシップ

ビエビーメホフビト

独立行政法人 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院

インターンシップの目的



独立行政法人 地域医療機能推進機構
福岡ゆたか中央病院

